

日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

2024年度（2025年3月期）

1. 決算概要

- 1-1. 2024年度決算
- 1-2. セグメント別実績
- 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
- 1-4. セグメント情報詳細

2. 2025年度業績予想

- 2-1. 2025年度業績予想
- 2-2. セグメント別予想
- 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
- 2-4. セグメント情報詳細

3. 主な指標

- 3-1. 経営目標
- 3-2. BS項目
- 3-3. CF項目

1. 決算概要

1-1. 2024年度 決算

単位：百万円

	2024年度	2023年度	前期比増減	前期比
売上高	530,878	513,541	+17,336	103.4%
海外売上高比率	26.1%	21.2%	—	—
営業利益	19,278	20,840	△1,561	92.5%
売上高営業利益率	3.6%	4.1%	—	—
経常利益	18,089	20,033	△1,944	90.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,850	15,148	△2,298	84.8%

1-2. セグメント別実績

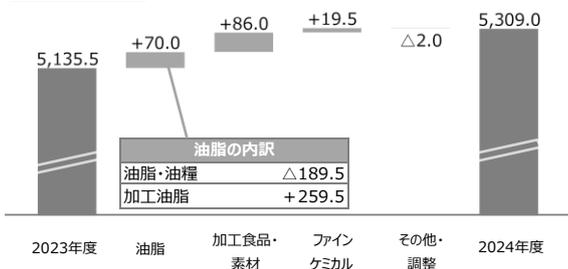
単位：百万円

	2024年度	2023年度	前期比増減	前期比
売上高	530,878	513,541	+17,336	103.4%
油脂	428,962	421,973	+6,989	101.7%
油脂・油糧	299,045	317,995	△18,950	94.0%
加工油脂	129,917	103,978	+25,939	124.9%
加工食品・素材	78,708	70,129	+8,578	112.2%
ファインケミカル	20,830	18,884	+1,945	110.3%
その他・調整	2,376	2,553	△176	93.1%
営業利益	19,278	20,840	△1,561	92.5%
油脂	13,270	18,981	△5,710	69.9%
油脂・油糧	6,968	14,478	△7,510	48.1%
加工油脂	6,302	4,503	+1,799	139.9%
加工食品・素材	4,774	990	+3,784	482.0%
ファインケミカル	1,771	1,208	+562	146.6%
その他・調整	△538	△340	△197	—

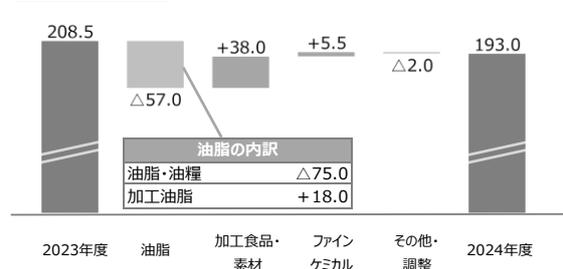
1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>

○油脂

- ・国内油脂における汎用品、ミールの販売単価低下（↓）
- ・業務用、加工用、ミールの販売数量増加（↑）
- ・ホームユースの販売数量減少（↓）
- ・海外加工油脂の販売数量増加および販売単価上昇（↑）
- ・海外加工油脂における為替換算の影響（↑）

○加工食品・素材

- ・チョコレートの販売単価上昇（↑）

○ファインケミカル

- ・化粧品原料の販売数量増加（↑）

<営業利益増減要因>

○油脂

- ・オリーブオイルの原価上昇（↓）
- ・国内油脂の粗利単価低下、物流費の増加（↓）
- ・国内加工油脂の販売数量増加および粗利単価向上（↑）
- ・海外加工油脂の販売数量増加（↑）
- ・パーム油取引の時価評価損益の影響（↑）
- ・海外加工油脂における為替換算の影響（↑）

○加工食品・素材

- ・チョコレートの販売単価上昇による粗利単価向上（↑）
- ・MCTの適正価格での販売（↑）

○ファインケミカル

- ・化粧品原料の販売数量増加および粗利単価向上（↑）

1-4. セグメント情報詳細

油脂（うち油脂・油種）

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
国内油脂	183,824	△8,952	△7,401	・業務用、加工用ならびにミールの販売数量増加による増収要因はあるものの、油脂およびミールの販売単価低下やホームユースの販売数量減少により減収 ・汎用品の粗利単価低下およびオリーブオイルにおける原価上昇の影響に加え、物流費の増加もあり減益
業務用・加工用	115,968	△5,976		
ホームユース	67,856	△2,976		
ミール	83,489	△11,213		
子会社	79,463	+1,905	△149	
連結調整 他	△47,731	△689	+40	
油脂・油種 計	299,045	△18,950	△7,510	

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
21%	+3,689

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+5.0	業務用・加工用（+6.0）、ホームユース（△1.0）
販売単価要因	△89.5	業務用・加工用（△90.5）、ホームユース（+1.0）
コスト要因	+20.5	
大豆	+16.0	C&F（+177.5）、為替（△67.5）、ミール販売（△94.0）
菜種	+30.0	C&F（+137.5）、為替（△53.5）、ミール販売（△54.0）
その他商品・製造費	△25.5	オリーブオイルコスト上昇等
販管費・その他	△10.0	
合計	△74.0	

油脂（うち加工油脂）

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
海外加工油脂	140,560	+31,530	+1,542	・販売数量増加、販売単価上昇に加え、為替換算の影響もあり増収 ・販売数量増加、パーム油取引の時価評価損益（当期+4.5億円、前期△8.0億円）の影響に加え、為替換算の影響もあり増益
欧州	57,087	+10,759		
アジア	74,585	+19,355		
その他地域	8,887	+1,416		
国内加工油脂	16,022	+1,254	+259	・販売数量増加および粗利単価向上により増収増益
連結調整 他	△26,665	△6,845	△3	
加工油脂 計	129,917	+25,939	+1,799	

補足：海外加工油脂の販売数量増減率（増減率は前期比）

	販売数量増減率
海外加工油脂	+5%
欧州	+5%
アジア	+6%
その他地域	△4%

補足：海外加工油脂に占めるチョコレート用油脂を中心としたスベシヤリティアット

売上高構成比	販売数量増減率
37%	△3%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+2.0	スベシヤリティアット（△4.0）、その他（+6.0）
販売単価要因	+141.0	スベシヤリティアット（+37.0）、その他（+104.0）
コスト要因	△141.5	
原料代	△138.5	
製造費 他	△3.0	
販管費・その他	+3.0	
パーム油取引時価評価	+12.5	当期+4.5億円、前期△8.0億円
合計	+17.0	

1-4. セグメント情報詳細

加工食品・素材

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	47,911	+10,181	+2,808	・原料コスト上昇に伴う販売価格改定等により増収増益
調味料	4,806	△44	+74	・販売価格改定による粗利単価向上により増益
機能素材・食品	8,928	△242	+719	・MCTの販売単価低下により減収。適正価格での販売による粗利 単価向上により増益
MCT	6,827	△314		
大豆素材・食品	21,989	△625	+179	・粗利単価向上により増益
連結調整 他	△4,927	△690	+1	
加工食品・素材 計	78,708	+8,578	+3,784	

ファインケミカル

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	17,840	+2,356	+481	・化粧品原料の販売数量増加および粗利単価向上により増収増益
環境・衛生	6,285	△110	+79	
連結調整 他	△3,294	△300	+1	
ファインケミカル 計	20,830	+1,945	+562	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
11,863	+2,053

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2023年度	144.59	156.75	31.15	20.13	0.0094
2024年度	152.62	163.88	33.87	21.11	0.0095

2. 2025年度業績予想

2-1. 2025年度業績予想

単位：百万円

	2025年度 予想	2024年度 実績	前期比増減	前期比
売上高	550,000	530,878	+19,121	103.6%
営業利益	21,000	19,278	+1,721	108.9%
経常利益	19,500	18,089	+1,410	107.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,500	12,850	+14,649	214.0%

2-2. セグメント別予想

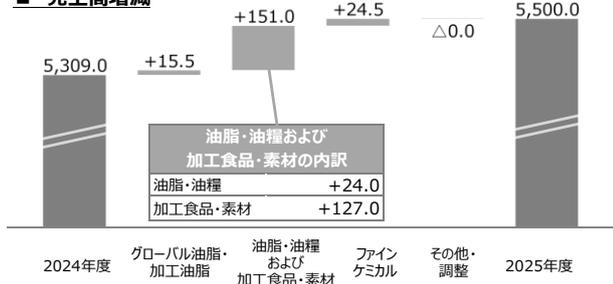
単位：百万円

	2025年度 予想	2024年度 実績	前期比増減	前期比
売上高	550,000	530,878	+19,121	103.6%
グローバル油脂・加工油脂	117,000	115,418	+1,581	101.4%
油脂・油糧および 加工食品・素材	405,500	390,407	+15,092	103.9%
油脂・油糧	315,000	312,623	+2,376	100.8%
加工食品・素材	90,500	77,783	+12,716	116.3%
ファインケミカル	17,000	14,545	+2,454	116.9%
その他・調整	10,500	10,506	△6	99.9%
営業利益	21,000	19,278	+1,721	108.9%
グローバル油脂・加工油脂	6,000	5,234	+765	114.6%
油脂・油糧および 加工食品・素材	13,800	12,778	+1,021	108.0%
油脂・油糧	10,700	8,110	+2,589	131.9%
加工食品・素材	3,100	4,667	△1,567	66.4%
ファインケミカル	1,500	1,590	△90	94.3%
その他・調整	△300	△324	+24	-

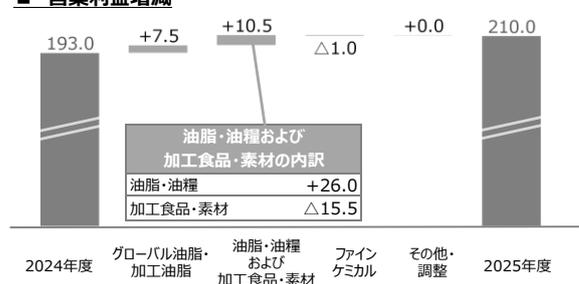
2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・販売単価上昇（↑）
- 油脂・油糧および加工食品・素材（油脂・油糧）
 - ・国内油脂における販売数量増加および販売単価上昇（↑）
 - ・ミールの販売単価低下（↓）
- （加工食品・素材）
 - ・チョコレートの販売数量増加および販売単価上昇（↑）
- ファインケミカル
 - ・国内における化粧品原料の販売数量増加（↑）

<営業利益増減要因>

- グローバル油脂・加工油脂
 - ・粗利単価向上（↑）
- 油脂・油糧および加工食品・素材（油脂・油糧）
 - ・国内油脂の粗利単価向上（↑）
 - ・オリーブオイルの原価低下（↑）
- （加工食品・素材）
 - ・チョコレートの原価上昇（↓）
 - ・MCTの原価上昇（↓）
- ファインケミカル
 - ・海外での化粧品原料の販売数量減少および原価上昇（↓）

2-4. セグメント情報詳細

グローバル油脂・加工油脂

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ISFグループ	142,365	+1,805	+866	・販売単価上昇により増収 ・スペシャルティファットの販売数量増加および粗利単価向上により増益
欧州	58,610	+1,523		
アジア	73,325	△1,259		
その他地域	10,428	+1,541		
他子会社・連結調整	△25,365	△224	△100	
グローバル油脂・加工油脂 計	117,000	+1,581	+765	

補足：ISFグループの販売数量増減率
(増減率は前期比)

	販売数量増減率
ISFグループ	+0%
欧州	+5%
アジア	△3%
その他地域	+1%

補足：ISFグループに占める
チョコレート用油脂を中心とした
スペシャルティファット

売上高	販売数量増減率
59,225	+9%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+2.5	スペシャルティファット（+6.5）、その他（△4.0）
販売単価要因	+1.0	スペシャルティファット（△3.0）、その他（+4.0）
コスト要因	+13.5	
原料代	+24.0	
製造費 他	△10.5	
販管費・その他	△2.5	
バーム取引時価評価	△4.5	当期0.0億円、前期+4.5億円
合計	+10.0	

「油脂・油糧および加工食品・素材」の油脂・油糧

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
油脂・加工油脂	218,566	+17,775	+2,658	・販売数量増加および販売単価上昇により増収 ・販売数量増加および粗利単価向上により増益
業務用・加工用	129,241	+9,338		
ホームユース	73,459	+5,602		
加工油脂	15,864	+2,833		
ミルク	76,596	△6,892		
子会社・連結調整	19,837	△8,506	△69	
油脂・油糧 計	315,000	+2,376	+2,589	

補足：油脂・加工油脂の
販売数量の増減率

増減率（前期比）	
業務用・加工用	+2%
ホームユース	+1%
加工油脂	+3%

補足：油脂・加工油脂に占める
マーケティング・機能型商品

売上高
75,580

補足：油脂・加工油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
業務用・加工用、ホームユース	+23.5	
販売数量要因	+2.5	業務用・加工用（+6.0）、ホームユース（△3.5）
販売単価要因	+102.0	業務用・加工用（+67.5）、ホームユース（+34.5）
コスト要因	△46.5	
大豆	△10.5	C&F（+73.5）、為替（△21.0）、ミルク販売（△63.0）
菜種	△51.5	C&F（+11.0）、為替（△19.5）、ミルク販売（△43.0）
その他商品・製造費	+15.5	オリブオイルの原価低下等
販管費・その他	△34.5	
加工油脂	+3.0	
合計	+26.5	

「油脂・油糧および加工食品・素材」の加工食品・素材

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
チョコレート	59,278	+11,367	△1,347	・販売数量増加および販売価格上昇により増収も、粗利単価低下により減益
機能素材・食品	8,919	+930	△171	・販売数量増加により増収も原価上昇により減益
MCT	6,864	+958		
調味料、大豆素材・食品	25,984	△807	△34	
連結調整	△3,683	+1,225	△14	
加工食品・素材 計	90,500	+12,716	△1,567	

2-4. セグメント情報詳細

ファインケミカル

単位：百万円

増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ファインケミカル製品	19,732	+1,892	△46	・国内における化粧品原料の販売数量増加により増収 ・海外での販売数量減少と原価上昇により減益
連結調整	△2,732	+562	△43	
ファインケミカル 計	17,000	+2,454	△90	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
13,400	+1,536

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2024年度	152.62	163.88	33.87	21.11	0.0095
2025年度	145.79	161.60	32.80	19.93	0.0087

3. 主な指標

3-1. 経営目標

	単位	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想
売上高	百万円	513,541	530,878	550,000
営業利益	百万円	20,840	19,278	21,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	15,148	12,850	27,500
ROE	%	8.8%	7.0%	13.9%
ROIC	%	5.1%	4.6%	5.3%

3-2. BS項目

	単位	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想
総資産	百万円	393,382	388,242	425,000
運転資本	百万円	151,758	149,307	155,000
自己資本	百万円	182,622	187,146	209,000
有利子負債	百万円	96,946	90,762	105,000
投下資本	百万円	279,568	277,908	314,000
自己資本比率	%	46.4%	48.2%	49.2%
ネットD/Eレシオ	倍	0.42	0.39	0.42

3-3. CF項目

	単位	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 予想
営業キャッシュフロー	百万円	36,715	21,166	18,500
投資キャッシュフロー	百万円	△ 16,083	△ 9,590	△ 26,000
財務キャッシュフロー	百万円	△ 14,586	△ 13,885	8,000

■ シカゴ大豆相場



■ ICE菜種相場



■ パーム原油相場



■ パーム原油 第2限月と第3限月のスプレッド推移



■ カカオ相場



■ ミールバリュー推移



■ 為替相場 (円/ドル)

